

「高齢者の服薬に関する実態調査」について（お願い）

おかげさまで、全国大会も無事に終わりましたので、いよいよ高齢者と服薬について、実態調査のスタートです。

すでに申しあげました通り、厚生労働省に「高齢者医薬品適正使用検討会」が発足し、本会も構成メンバーとして樋口が出席し、一般市民の声・高齢当事者の声を届けようと努力しております。

つきましては、高齢当事者の服薬に関する現状と、医薬品への要望をできるだけ正確に把握したいと思い、別紙のとおり「高齢者の服薬に関する実態調査」を行うことといたしました。ぜひご協力をいただきたくお願いする次第でございます。

1. 調査の目的

- (1) 高齢者の医薬品のあり方について関心の高まる中、高齢者の服薬の現状と意識について、高齢者当事者の声を関係諸機関はじめひろく社会に届ける。
- (2) 調査結果の集計・分析を行い、検討会に届けるとともに、とくに必要な問題点については、関係諸機関に要望書を提出し、ひろく社会に発信する。

2. 調査対象 65歳以上の方々

3. 調査体制

基本的に本会運営委員会の責任で、調査票の作成、配布、集計分析を行なう。

4. 調査方法

- (1) 会員を中心に、関係者、関係団体に呼びかけ、自己記入あるいは聞き取りにより記入する。
- (2) 郵送による配布・回収、FAX回収、e-mail回収

5. 調査期間 2017年9月～10月末日

ここに調査票をお送りいたしますので、65歳以上の方は直接ご回答を、お若い方はお近くの高齢者をお願いするか、聞き取りの代理記入でも構いませんので、ご回答をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

コピーしてできるだけ大勢の方のご意見をいただければ幸いです。誠に恐縮ではございますが、本会の財政上の問題もあり、コピー代と返信料はカンパとしてご負担くださいますようお願い申し上げます。よろしくご協力いただき、本会としてしっかりした調査結果を世に出したいと存じます。

NPO法人高齢社会をよくする女性の会

理事長 樋口 恵子

〒160-0022 新宿区新宿2-9-1-802

TEL 03-3356-3564

FAX 03-3355-6427

e-mail wabas@eagle.ocn.ne.jp